

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市教育文化センター	
(2) 施設の設置目的	
市民に生涯学習と文化活動の場を提供するとともに、教育に関する研究及び教育関係職員の研修等を行うことにより、文化の発展と教育の振興に資するため	
(3) 所管部局	
教育委員会事務局 教育センター 企画相談課	
(4) 指定管理者名	
JTBCコミュニケーションデザイングループ (株式会社JTBCコミュニケーションデザイン、南海ビルサービス株式会社、株式会社東急コミュニティー)	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">施設等貸出業務(中文化会館)プラネタリウム室・天体観測室・科学展示コーナー運営業務駐車場・駐輪場の管理運営業務利用料金等の收受業務施設利用案内業務、情報コーナー等に関する業務施設等の維持管理業務(中文化会館・プラネタリウム・教育センター・中図書館等)自主事業(文化芸術振興事業及び生涯学習推進事業等)市への協力及びその他の業務	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民・教職員	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪880万人訓練にあわせた避難訓練・指定避難所開設訓練や、防災士監修の災害想定訓練を継続して実施している。 ・新型コロナウイルス感染症への対応については、所管課とも連携を密に行い、市内他施設との対応の差が出ないように努めた。 ・個人情報保護に関しては、申込書を鍵付き棚に保管するなど管理徹底を継続しており、漏えい事故等も発生していない。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置については前年度より大きな変更はない。人材育成に関しては、コンプライアンス研修は指定管理者構成企業全体で実施し、全職員のコンプライアンス意識の向上を図った。 ・施設の維持管理等に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により当初収支計画から大きな乖離が発生しているため修繕費の執行の見直しを余儀なくされているが、利用者サービスのレベルが落ちないように優先順位を付けながら適宜実施している。
施設の設置目的に沿った事業の実施	特定天井工事が実施されホールが長期間利用不可だったことや、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度に引き続きホール活用事業については実施できていない。実施した他の事業(カルチャーやコピーサービス)については、特に新型コロナウイルス感染症対策を万全として実施している。
その他特筆すべき取組	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。コロナの影響だけでなく、特定天井工事による利用者減を見込み、レストラン事業を令和3年度休止した。

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症及び特定天井工事による利用者減少など、事業運営に大きく影響を受ける中、利用者が安全・安心で利用しやすい施設運営に取り組み、施設の快適性やスタッフの対応についての利用者満足度も高い評価を得ている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	JTBコミュニケーションズグループ	JTBコミュニケーションズグループ	JTBコミュニケーションズデザイングループ	JTBコミュニケーションズデザイングループ	JTBコミュニケーションズデザイングループ
利用者数(単位:人)	266,039	225,456	74,239	83,888	—
稼働率(単位:%)	58.4	54.6	42.2	47.6	—
利用者満足度(単位:%)	96.5	96.5	97.0	98.8	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	新型コロナウイルス感染症対応による休館中には主にSNSを通じて天文情報を発信し、再開館後の誘客促進を行った。Youtubeチャンネルも開設し、情報発信に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	大きな苦情・要望は発生していない。会館西側の駐輪場付近にカラスの巣が発生し、駐輪場利用者や歩行者を威嚇するトラブルが発生したが、堺市担当課とも調整し、事故なく処理は完了している。
その他特筆すべき取組	9か月間のホール休館や、1か月以上の全館休館はあったが、令和2年度の利用者数を上回った。通常の利用者は減少しているが、新型コロナワクチン接種会場として本館ギャラリーが利用されたこともあり、利用者数は増加している。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により「定員の半数」「飲食の制限」「夜間利用の新規利用申込中止」などの市からの協力要請に加えて、感染拡大防止を理由とした自主的な利用自粛傾向の中、SNSを通じて、自主事業や天文事業等の情報発信を行うなど、誘客促進に取り組んでいる。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■指定管理業務

指定管理業務		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		JTBコミュニ ケーションズグ ループ	JTBコミュニ ケーションズグ ループ	JTBコミュニ ケーションデザ イングループ	JTBコミュニ ケーションデザ イングループ	JTBコミュニ ケーションデザ イングループ
収入	指定管理料	176,282,829	177,627,511	170,396,000	170,396,000	170,396,000
	利用料金	65,061,675	53,580,950	29,268,296	37,407,306	71,794,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	9,729,420	9,732,272	17,989,832	24,869,029	7,678,000
合 計		251,073,924	240,940,733	217,654,128	232,672,335	249,868,000
支出	人件費	57,322,976	112,555,121	106,554,412	104,487,350	101,856,000
	委託料	76,961,003	70,916,004	79,163,964	73,130,217	80,872,600
	総支出額に占める 委託料の割合	30.5%	27.3%	31.4%	30.2%	32.4%
	修繕費	5,496,140	3,572,289	1,260,330	1,038,180	3,000,000
	光熱水費	32,331,234	30,217,126	27,711,615	29,063,999	29,300,000
	その他	80,034,850	42,316,537	37,768,749	34,758,128	34,839,400
合 計		252,146,203	259,577,077	252,459,070	242,477,874	249,868,000
収支差額		-1,072,279	-18,636,344	-34,804,942	-9,805,539	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-	-
(徴収委託の場合の徴収額)		-	-	-	-	-

■自主事業 (有)

(単位:円)

自主事業 (有)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収 入		20,039,140	22,323,313	7,096,745	4,789,780	18,386,900
支 出		25,448,785	27,873,040	18,282,321	8,030,615	18,869,563
収支差額		-5,409,645	-5,549,727	-11,185,576	-3,240,835	-482,663
(市への納付金の額)		2,367,360	2,367,360	2,338,771	8,891	8,891

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に引き続き利用料金収入は収支計画から大きく落ち込んだが、広告費等の見直しを行い収支の安定に努めた。 ・その他収入には、特定天井改修工事に伴う補填額7,352,183円、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う補填額2,255,640円、堺市指定管理者管理運営継続支援金10,019,000円を含む。
------------	--

ウ 市による状況分析

経費の縮減や市からの新型コロナウイルス感染症に係る利用料金の還付等の補填対応を行ったが、特定天井工事によるホールの休館等もあり、利用料金収入は、大きく落ち込み、収支差額は、マイナスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
プラネタリウム番組数	20本以上	23本
学習投影開催件数(年間実施回数)	155回以上	136回
学習投影開催件数(堺市小学校参加率)	70%以上	46.0%
施設稼働率(年間日数稼働率)	60%以上	47.6%

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者の満足度	97%以上	98.8%
中文化会館利用者数	162,000人以上	83,888人
プラネタリウム観覧者数	44,000人以上	28,355人

■収支

指標	目標	実績
利用料金等収入	57,000千円以上	37,407千円

イ 市による状況分析

緊急事態宣言等の発出による施設の休館(R3.4/25～6/20)、開館時間の短縮(R3.4/9～24, 6/21～10/24)が生じたことにより、利用者数や利用料金収入は著しく低下したが、エントランス入口等に消毒液の設置、啓発チラシの掲示、定時の館内放送、清掃等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組により、利用者満足度は高評価を維持している。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	利用者満足度は98%と前年度を上回り、目標を超える高い水準を維持している。 プラネタリウム番組数及び利用者満足度以外は目標を下回る結果となっている。新型コロナウイルス感染症の影響だけでなく特定天井工事によるホール休館の影響も受けている。	市からの施設の休館及び開館時間の短縮の指示により、利用者数及び利用料金収入の目標は未達成となった。エントランス入口等に消毒液の設置、啓発チラシの掲示、定時の館内放送、清掃等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組により、利用者満足度は高評価を維持している。
今後の取組	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、各目標数値の達成は厳しいものと予想される。 各種支出の削減だけでなく、アフターコロナに向けた新規利用者の獲得取組を実施する。	引き続き、施設設備の適切な維持管理や利用者の安全確保に努めるとともに、アフターコロナに対応した新たな取組の実施により、新規利用者の獲得や利用者の満足度が向上することを期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの